

ホークスファーム対策特別委員会報告

本委員会はホークスファーム本拠地の誘致を市と一体となって成功させるため、議員の総意で設置された。誘致決定後も、市とホークスファームとがどう連携・協力していくかを議論してきた。

本委員会は当初、名称を「福岡ソフトバンクホークスファーム本拠地誘致推進特別委員会」とし

ていたが、誘致が決定したため「誘致推進」という名称が委員会の取組内容に合致しなくなったことから、現在は「ホークスファーム対策特別委員会」と名称変更している。本年度の活動として、8回の特別委員会を開催した。

内容としては「ファーム本拠地立地に関する基

本協定」「地域連携に関する協定」を審議し「土地使用貸借契約書」についても議論した。

また雁ノ巣球場で開催された「ガンレクフェスタ」や西戸崎室内練習場及び選手寮を視察し、施設やイベントの状況を調査した。

そして今後ホークス側と締結する「地域包括連携協定」の内容について協議した。

この協定により、市と球団との関わり方が決まる。

今後、議会の意見も反映しながら、市の経済発展並びに、スポーツを通して子どもたちの健全育成に寄与するために、実のある協定を締結できるように、慎重に議論していく。



西戸崎室内練習場の視察

傍聴席の声



てしまい、帰郷する人もいない。もう特別な施策は必要ないと思う。(60代男性)

◆このところずっと男女共同参画に関する一般質問がないのが残念だ。DVの相談も増えている。目に見える形の取り組みが欲しい。(60代女性)

◆学童保育は定住促進の重要な柱である。学童があるか否かで住居を決める人も多い。運営のあり方を現場の課題も考えながら進めて欲しい。(60代女性)

◆同和地区は過去のものとなっている。差別があった頃の友人は都会に出

◆今回も、多くの市民のみなさんに傍聴いただき、ありがとうございました。また、貴重なご意見ありがとうございました。今後の議会運営の参考にさせていただきます。

次回も多くの方の傍聴をお待ちしています。